

新型コロナウイルス感染症流行期における 「食事時のポジショニング基本スキル」のご案内

POTT（ぽっと）プロジェクト

心地良いポジショニング（姿勢調整）は、食欲を促し食べるよろこびを伝え支え合うことにつながります。しかし、この度の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大は、食事援助全般に感染予防対策が必須となりました。それに伴い、従来のPOTTプログラムに感染予防を入れた「ベッド上」と「車いす」でのポジショニング基本スキル^{1) 2)}を作成し、公開致します。ポジショニングは、摂食嚥下障害のある人の誤嚥予防や自立支援のための基本的なケアで、食事介助、口腔ケア、嚥下評価・訓練等の姿勢調整に用います¹⁾。

＜ポジショニングの効果＞

- 安楽な姿勢で食べる意欲を引き出し、回復力を高める。
- 誤嚥を軽減ないし防止し、誤嚥性肺炎を予防する。
- 摂食嚥下機能の維持により、早期経口摂取や栄養状態の改善につながる
- 食事の自立を促し食事量の増加や時間の短縮、介護負担が軽減する等

＜実施のポイント＞

- 患者の感染の有無を確認、標準予防策・施設の予防基準に沿って実施する。
- 換気等の環境を整える。患者との接触を最小限にして短時間で効率的に実施する

新型コロナウイルス感染症の影響は、学会等の要望で口腔ケアや摂食嚥下評価、間接訓練の一部が見合わせとなっています³⁾⁴⁾。それは、必要な人に必要なケアが十分に届かない状況であり、患者はもとより医療や介護従事者のシレンマや不安が大きくなっています。また新型コロナウイルス感染症により、病気、不安、差別の3つの感染が拡散されると警告されております⁵⁾。これらを克服するカギは、私達専門職ができる医療やケアをチームで確実に実践することではないでしょうか。

食事時のポジショニングは、感染の有無に関わらず病む人の安楽や、不利益が生じない倫理的配慮と実践が求められます。これまでPOTTプログラムの実践や関心を寄せて下さった多くの方々に当基本スキルを参照していただき、ポジショニングで共に食べるよろこびを伝え、支え合えることができましたら幸いです。

添付資料

- 新型コロナウイルス感染症流行期における「ベッド上ポジショニング基本スキル」
- 新型コロナウイルス感染症流行期における「車いすにポジショニング基本スキル」

参考文献・URL

- 1) 迫田綾子編：ナース必携 誤嚥を防ぐポジショニングと食事ケア。三輪書店・2013.
- 2) POTTプロジェクト ホームページ <http://pott-program.jp/>
- 3) 日本摂食嚥下リハビリテーション学会：新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対する注意喚起。
<https://www.jsdr.or.jp/>
- 4) 日本嚥下医学会：新型コロナウイルス感染症（COVID-19）流行期における嚥下障害診療への注意喚起。
看護の留意点他。 <http://www.ssdj.med.kyushu-u.ac.jp/>
- 5) 日本赤十字社：新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！～負のスパイラルを断ち切るために～
<http://www.jrc.or.jp/>

*POTT（ぽっと）とは、“ポジショニング（PO）で食べる（T）喜びを伝える（T）”の愛称で、食事時のポジショニング（POTTプログラム）の技術と教育方法を看護や介護職に伝承する活動を行っています。ただ新型コロナウイルス感染の拡大に伴い、POTT研修会は全て延期しました。終息した暁には、速やかに開始致します。

＜相談・お問い合わせ＞

POTTプロジェクト事務局 日本赤十字広島看護大学内 Eメール；pott.pro@gmail.com